

渡良瀬川流域における小中学校の空き教室を 利活用した草の根防災減災教育支援プロジェクト

亀井 めぐみ

関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 調査課 (〒326-0822 栃木県足利市田中町661-3) .

近年頻発化、激甚化する自然災害に備えたソフト対策の一環である防災減災教育は、児童・生徒の段階からの展開が望まれるが、当該教育に割り振られた時間は少なく、当事務所による出前講座等による支援も限られていることから、常日頃から接し、理解を深めることができる教育環境を確立する等、具体的な支援が必要である。このような背景を踏まえ、当事務所では児童・生徒が日頃から防災減災に関する情報に触れることができる拠点として、小中学校の「空き教室」に着目した草の根防災減災教育支援プロジェクトを発案し、2018年度に構築、着手した。本稿は、初年度における成果及びその後の進捗状況について報告するものである。

キーワード 草の根防災減災教育支援、空き教室、地域防災力向上

1. 背景

国土交通省は、頻発する洪水の備えとしてハード・ソフト両面からの防災減災対策を地方公共団体、流域の企業、住民等と連携を図りながら進めている。その内、特に、防災減災教育は「(自ら或いは他人の)命を守る」ことに係る重要な事項であることから、児童・生徒の段階からの理解が望まれる。

一方、実際の教育現場では限られた時間での防災教育の実施の他、少子化に伴う児童・生徒の減少等による廃校、普通教室として使用されない施設の取り扱い、開かれた学校への取組み等、様々な対応が必要とされている。

以上の背景を踏まえ、渡良瀬川河川事務所は、防災減災教育の日常性確保の為、小中学校に存在する空き教室の利活用に着目し、両者の課題解決に寄与することを目的とした事務所独自のプロジェクトを2018年に構築、着手した。

2. 目標設定

本プロジェクトでは、渡良瀬川流域における小中学校の空き教室を拠点とし、安全・安心・安らぎ(安3つ)をテーマとした防災減災教育により、地域防災力の強化を図ることを上位目標として設定した(図-1参照)。

なお、本プロジェクトは、英語表記(The Partnership

Project for Disaster Resilience Education by utilizing empty classrooms at Elementary and Junior high schools in Watarase River Basin) から「PDEc」を略称とした。

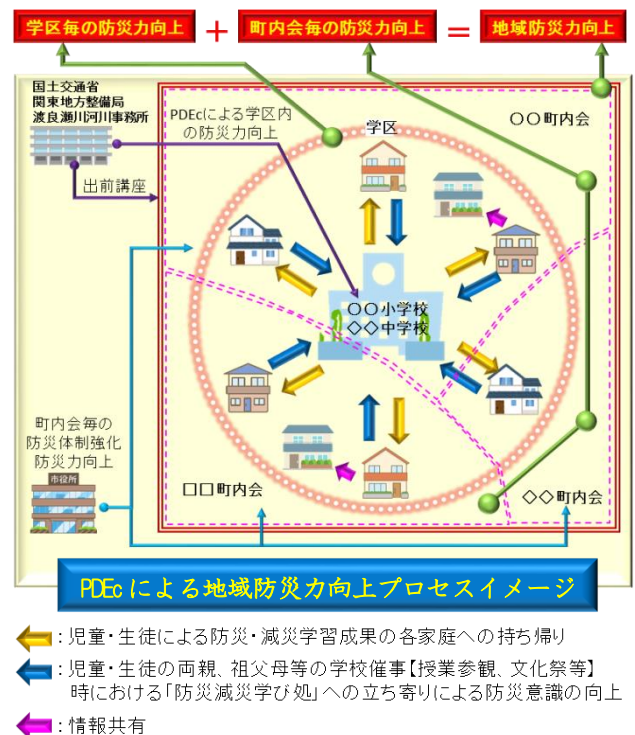


図-1 地域防災力向上プロセスイメージ図

3. 活動計画

上位目標達成に向け、4つのフェーズを設定した。
 フェーズⅠ：足利市立第三中学校によるパイロット化
 フェーズⅡ：防災減災教育を実施している他の足利市立小中学校での展開
 フェーズⅢ：足利市教育委員会との連携による小中学校での展開
 フェーズⅣ：渡良瀬川流域における小中学校での展開
 なお、各フェーズにおける目標達成時期は、フェーズⅠが着手年度内、フェーズⅡが着手後2～3年以内、フェーズⅢ以降は中長期的な位置付けとして設定した。

4. カウンターパートとの実施体制の確立による双方の役割分担、活動内容等の調整

実施体制については、カウンターパート（空き教室を提供する学校側）と当事務所の関係者で構成されるPDEc実行委員会（表-1参照）により確立を図る。カウンターパート側の構成は、学校長、教頭、その他の教諭及び生徒会・安全委員会の生徒、事務所側は所長、副所長、関係課長及び出張所長を基本とした。

当該委員会により、両者の役割分担、投入内容の調整及びプロジェクトの進捗管理を行う。基本的な役割分担として、カウンターパートは、空き教室、展示ボード等の提供、施設及び展示パネル等の維持管理担当者の選定及び日々の管理、事務所側は、展示パネル・展示物、配布物等の作成を担うものとした（表-2参照）。

5. 実施にあたっての創意工夫

(1) 展示テーマ設定

防災減災を間接的に、親しみやすく接することができるようなテーマを設定することとし、当事務所における将来の方向性である「両毛の地に安全、安心、安らぎを運ぶ渡良瀬川」で使用している「安全、安心、安らぎ」の3つの言葉の頭文字「安」に着目した（図-2参照）。

「安3つ」を「あんみつ（餡蜜）」に掛け、3種類のあんみつを「渡良瀬あんみつ」と名付け、それぞれのあんみつをテーマとした防災減災に関するパネルの作成、展示を行うものである。

(2) 展示内容

渡良瀬川流域に係る情報を基本とし、自然災害等に関する全国的、国際的な内容を基本形とした。なお、展示後は、カウンターパートからの要請に基づいたアフターケアを行う。

表-1 PDEc実行委員会（基本形）

〇〇学校	渡良瀬川河川事務所
1. 校長	1. 所長
2. 教頭	2. 副所長
3. 教務主任	3. 〇〇課長
4. 安全委員担当教諭	4. 〇〇出張所長
5. 安全委員担当生徒	
6. 生徒会本部役員生徒	

表-2 両者の投入内容（基本形）

〇〇学校	渡良瀬川河川事務所
1. カウンターパート（施設管理者を含む）の配置	1. 担当者の配置
2. 空き教室及び当該教室室内設備	2. 展示パネル
3. 空き教室の電気、水道	3. 展示物
4. 展示用具（展示ボード）	4. 展示用具（木製展示室内設備）
5. その他	5. その他（暖簾、案内板等）
	6. ポスター、配布・閲覧用印刷物
	7. その他



図-2 渡良瀬あんみつイメージ図

(3) 展示環境

展示テーマを「渡良瀬あんみつ」と設定していることから、利用する空き教室を、あんみつを提供する「甘み処」ならぬ「防災減災学び処」と名付けた。「甘み処」の雰囲気を感じられるよう出入り口に「暖簾」を設置し、案内板等の色彩文字体等も配慮した。また、渡良瀬川河道内樹木を利用したパネル展示柱を作成し、利活用した。

(4) 維持管理

小中学校の空き教室を利用するため、カウンターパート側に日々の管理を一任する体制とした。カウンターパート側が選定した維持管理担当者に対して、事務

所から委嘱状を交付し、開店時からの展示物、レイアウト等の変更、別教室への移動等も含め、カウンターパートの責任により実施される。

6. 2018年度の成果

足利市立第三中学校をパイロット校に位置付け、2019年1月28日に一号店として開店した。

(1)パイロット校指定の背景

足利市は1947年(昭和22年)9月のカスリーン台風による甚大な被害に見舞われた歴史的背景を有している。足利市立第三中学校では、その歴史的背景及び近年の頻発する自然災害を踏まえ、2011年からPTA役員の方々を中心とした多くの方々の協力による防災教育を実施する等、防災意識が高く、本プロジェクトの趣旨と一致していることから、パイロット校として位置づけた。

	展示パネル内訳	パネル(A1)数
a	プロジェクト概要	1
b	安全あんみつ	19
c	安心あんみつ	6
d	安らぎあんみつ	6
e	裏メニュー	6
f	特別メニュー	10
	合計	48

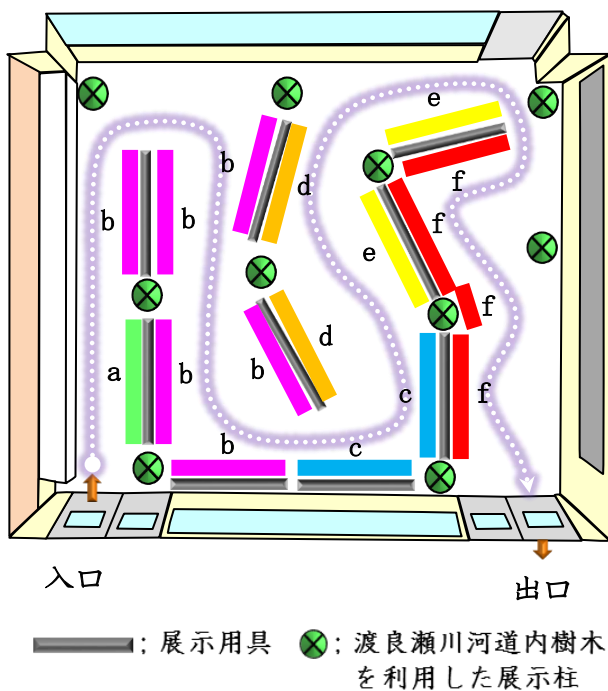


図-3 展示パネルレイアウト図 (足三中店)

(2)プロジェクトにおけるパイロット校の位置づけ

上位目標達成に向け設定した4つのフェーズの内、パイロット校における取り組みをフェーズIとして位置づけた。

(3)活動経緯

双方の代表者で構成するPDEc実行委員会を設立し、プロジェクトの進め方、役割分担、投入、維持管理等について協議を行った。

(4)展示内容

「渡良瀬あんみつ」の内、「安全あんみつ」では渡良瀬川における砂防事業、河川事業等、「安心あんみつ」では渡良瀬川の維持管理、防災体制等、「安らぎあんみつ」では渡良瀬川の利水、環境等に関するパネルを作成した。更に「裏メニュー」として、近年の自然災害の紹介、「特別メニュー」として東南アジア、中央ヨーロッパの河川・都市についても展示内容に加えることで、A1サイズのパネル計48枚が最初の展示構成となった(図-3、図-4参照)。なお、事務所による展示パネル内容の時点修正、新たなパネルの追加を適宜行うと共に、カウンターパートからの要請(展示内容に関する詳細情報、関連情報等)に応じた対応も並行して行うこととしている。

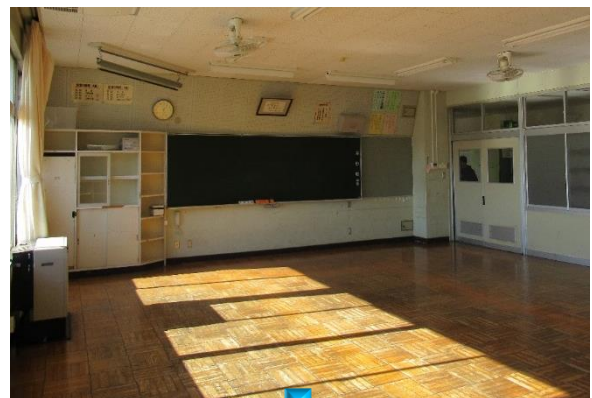


図-4 空き教室の変化



図-5 開店式典の様子（足三中店）

(5) 施設管理

当該施設の日々の維持管理については、当該施設が中学校内にあることから、カウンターパートとの調整結果を踏まえ、当該校の生徒会本部役員及び生徒会安全委員会の生徒が担当する。また、開店後の展示レイアウト、パネル等の移動も含めたパネルの利活用については、カウンターパート側に一任した。

なお、2019年1月28日に開催した開店式典において、事務所から生徒会長及び生徒会安全委員長に委嘱状を交付した。

(6) 開店式典

2019年1月28日、足利市立第三中学校において「防災減災学び処 渡良瀬あんみつ 足三中店」の開店式典を開催した。

開店式典は、委嘱状交付、感謝状授与、テープカット、暖簾あげ、内覧会で構成した（図-5参照）。

表-3 開店式典に係る報道結果

名称	日時等	タイトル
1)とちぎテレビ	1月28日 とちテレ ニュースlife	空き教室活用し防災学ぶ 第一号拠点が開所
2)下野新聞	1月29日 3面カラー	空き教室に防災教育拠点
3)日刊建設新聞 (栃木県全県版)	1月30日 2面	空き教室利用し防災教育

(7) 報道結果

開店式典開催に先立ち、2019年1月23日に事務所が記者発表を行い、事前登録方式での取材対応を募ると共に、カウンターパートも関係者への情報提供を行った。当日の取材は、とちぎテレビ、下野新聞、日刊建設新聞の3社であり、それぞれの報道結果を表-3に示す。

7. 2019年度の進捗状況

フェーズⅡにおける最初の実践校として足利市立協和中学校を位置付け、2019年9月11日に二号店を開店した。

(1) 開店までの経緯

当事務所による当該校PTA主催の防災講演会開催に向けた協議の中で、空き教室がない学校に対する当該プロジェクト展開の可能性について、カウンターパートからご相談頂いた。

パイロット校同様にPDEc実行委員会を設置し、協議を進め、図書室を有効利用する方針で合意に至った。なお、「渡良瀬あんみつ 足利協和中店」開店については、2019年9月9日に開催された防災講演会の中での紹介を経て、翌々日の9月11日、開店式典に至った。

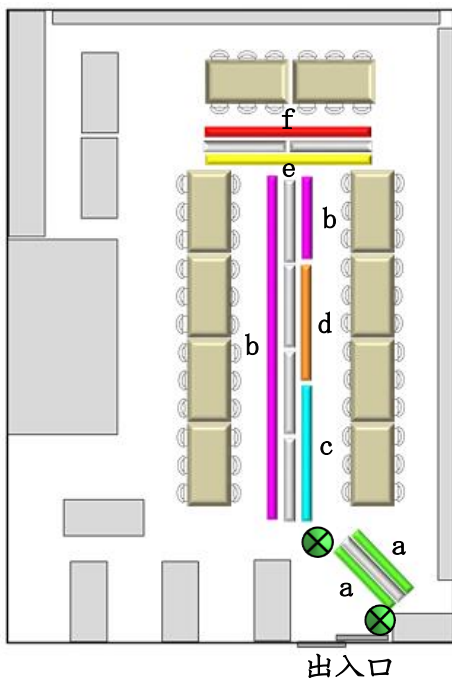
(2) 展示内容

展示パネルは、カウンターパートがパイロット校における展示パネル目録から選定した41枚のパネル（A1サイズ）を対象とした。また、展示レイアウトについては、カウンターパートとの協議を経て、図書室利用に支障のない配置とした（図-6、図-7参照）。

(3) 施設管理

パイロット校同様、当該施設の日々の維持管理については、カウンターパートとの調整結果を踏まえ、当該校の生徒会安全委員会の生徒が担当することとし、開店式典において、事務所から委嘱状を交付した（図-8参照）。

	展示パネル内訳	パネル(A1)数
a	プロジェクト概要	6
b	安全あんみつ	14
c	安心あんみつ	5
d	安らぎあんみつ	4
e	裏メニュー	6
f	特別メニュー	6
	合計	41



— : 展示用具 ⊗ : 渡良瀬川河道内樹木
 を利用した展示柱

図-6 展示パネルレイアウト図 (足利協和中店)



図-7 図書室の変化



図-8 開店式典の様子 (足利協和中店)

8. 開店後の各校における利活用状況

(1) 足利市立第三中学校

学校行事に合わせた関係者への見学会開催、地域に向けた広報誌、ブログ等への掲載を通して、新たな教育スタイルへの取り組みを積極的に展開されている。また、各教科における教材、参考資料としての活用、来年度開催予定の文化祭における展開等も伺っている。

施設場所については開店以降は3階の教室を利用しているが、今後は地域の方々にもご覧いただけるよう1階への移動も検討されている旨、伺っている。

事務所としては、適宜展示パネルの更新を行っているが、当該校による今後の利活用を踏まえ、パネル内容の深化、追加等、適切に対応することとしている。

(2) 足利市立協和中学校

防災講演会及び当該学び処の展示に基づいた内容に沿って、今後、足利市少年消防クラブ活動報告会で発表を行う意向であることから、事務所として、資料提供、アドバイスをを行うこととしている。また、来年度の文化祭における利活用についても検討されている旨、伺っている。

9. 今後の展開

パイロット校の開店以降、本プロジェクト説明用パンフレット、展示パネル目録を作成し、事務所独自の取り組みとして、幅広く情報発信している。

プロジェクト校については、必要に応じて調整、協

議を行うこととしているが、具体的な運用を行いながら、課題抽出を行い、今後の展開に反映させる計画である。

一方、事務所としては、展示パネルの更新が必要となることから、素材収集、パネル化への作り込み等を日頃から留意して進めることとしている。

また、2019年5月18日に40年ぶりに足利市内で開催された第68回利根川水系連合・総合水防演習における事務所展示ブースにて「渡良瀬あんみつ」を出店すると共に、10月末に10日間、足利市庁舎1階ロビーにおける臨時出店予定もあり、事務所独自の展開も並行して積極的に取り組んでいる。

最後に、本プロジェクトは「草の根防災減災教育支援プロジェクト」の内、空き教室を利活用した防災減災教育拠点づくりの内容であるが、これと同時並行的に、流域内高等学校オリジナルデザイン防災ゲームカード作成による地域特性を生かした魅力ある防災減災教育ツールの整備、広報施設、出前講座等の活用、充実等も展開しており、これらの相乗効果により、所期の目標設定に向け、柔軟な発想とカウンターパートとの連携の維持、強化を進めることとしている。

謝辞：本プロジェクトは、事務所独自の取り組みであり、プロジェクトの構築、着手及びフェーズⅠの事前・事後を通じ、プロジェクト校である足利市立第三中学校及びフェーズⅡにおける最初の実践校である足利市立協和中学校の両校の皆様からのご理解、ご協力と共に適切にご指導を賜った。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。